
QA26 評価結果が届きましたが、健康に問題ない数値なのでしょう

基本調査による結果（平成 26 年 12 月 31 日現在）では、事故後 4 か月間の線量を推計した 44 万 8,948 人（放射線業務従事経験者を除く）のうち 99.8%が 5 ミリシーベルト未満、93.9%が 1 ミリシーベルト未満でした。なお、最大値は 25 ミリシーベルトでした。

これまでの疫学調査から、福島第一原発事故による被ばく線量は低線量であり、県民の皆様健康に大きな影響を及ぼすものではないと考えられております。しかし、一方で低線量被ばくの健康影響については、さまざまな学説もあることから、より安心いただくために、100 ミリシーベルト以上での健康影響評価を参考に、そのリスクを推測し、長期にわたり健康を見守り続けるために、この県民健康調査を実施しております。

出典：福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センターウェブサイトより作成

出典の公開日：2015 年 3 月 31 日

本資料への収録日：2015 年 3 月 31 日